

会議録

会議の名称	令和8年度 第1回和泉市教育委員会評価委員会
開催日時	令和8年5月22日（金）午前10時00分～午前11時20分
開催場所	和泉市役所3A・3B会議室
出席者	教育委員会評価委員 委員長 杉田 菜穂 委員 川合 直人 委員 小松 佐穂子 教育委員会事務局 教育次長兼教育部長 鍛冶 公哉 教育部 教育指導監 上田 茂幸 次長兼教育総務課長 奥 信介 学校管理室長兼教育施設担当課長 大内 浩平 学校管理室保健給食担当課長 田嶋 祐一郎 学校管理室保健給食担当総括主幹 古川 香織 学校教育室長 永井 敬 学校教育室教育推進担当課長 隅埜 哲弥 学校教育室教職員担当課長 岩井 靖久 学校教育室人権教育担当課長 水田 基信 学校教育室児童生徒支援担当課長 日美 全登 教育総務課長補佐 大西 薫 教育総務課総務企画係長 吉田 昌史 教育総務課総務係主事 松尾 亜美
会議次第	1.開会 2.評価委員紹介 3.職員紹介 4.委員長選出 5.スケジュール確認 6.教育部ヒアリング （1）学校管理室 （2）学校教育室
ヒアリング内容	
取組項目番号4 川合委員	生成AIは非常に早い速度で進化している。学習にプラスとなる面も多くあると思うが、課題をしっかりと捉えたうえで、慎重に取り扱う必要がある。
杉田委員長	生成AIの活用にあたっては、生成AIが作成した内容が正確な情報であるかを確かめる力が求められ、子どもたちには、確かめることの重要性を伝える必要がある。

杉田委員長	小松委員が事前質問で指摘したとおり、市全体の平均学力を府全体の平均学力と比較するだけでなく、和泉市自体の学力の推移や学校ごとの学力の推移を分析することも、学力向上の取組みの検討にあたり重要である。 また、和泉市自体の学力の推移を測る際には、同じ内容（難易度や項目）で測る必要がある。
取組項目番号 6 川合委員	35 人学級編制に伴い、(学級数が増えることで) 教員の人材確保が課題だと思うが、和泉市の状況はどうか。
岩井課長	児童生徒数の減少に伴い、通常学級の配置教員数が減少傾向にある一方で、加配教員等が増加傾向にある。 年度によって欠員教員数は異なるが、加配教員の配置にかかる講師の確保に課題があるものの、現状は、教職課程のある近隣大学への巡回による講師募集や桃山学院大学との連携等により人材を確保できている状況である。
取組項目番号 7 川合委員	事前質問に対する回答において、スクールロイヤー、スクールソーシャルワーカーが関わった事案の件数が多いことが確認できた。 外部の専門家を入れた事案対応として、良い取組みである。
取組項目番号 9 杉田委員長	外国人児童生徒の中には、保護者とのやりとりにも困難が生じている事例はあるか。
水田課長	日本語指導が必要な児童生徒は現在 140 人おり、保護者の中には日本語をほとんど話せない方も一定数いる。そのため、懇談会やおたよりの配信など、日々のコミュニケーションが難しい事例もある。 なお、渡日して間もない、日本語未習得段階の児童生徒に対しては、初期支援（日本の学校生活や学習に関しての支援）として、令和 8 年度から、教育センター拠点集約型で日本語指導を実施している。
杉田委員長	昨今、日本語指導が必要な児童生徒が増えている状況に加え、保護者も日本語によるコミュニケーションが困難な場合が多くあることから、対応について、国・府への要望も必要ではないかと考える。

川合委員	学校における「合理的配慮」の提供については、本人や保護者からも「合理的配慮」の申し出が可能であることを周知できているか。
水田課長	支援が必要な児童生徒については、保護者と連携しながら個別支援計画を作成し、(小学校の場合は)中学校に引き継ぐ体制をとるとともに、保護者に対し合理的配慮申請についても周知している。
川合委員	中学校卒業後も、進学先等に状況を伝えることができるよう、本人や保護者としてしっかりと連携してほしい。
取組項目番号 1 1 杉田委員長	実績を表す際には、絶対数(参加人数など)と相対数(参加率など)のどちらで示すか、あるいは、両方示すかなど、評価が分かりやすい記載について、状況に応じた判断が必要である。
小松委員	水泳記録会、陸上記録会とも参加率が高く、子どもの運動意欲向上、運動機会の確保を目的とした良い取組みである。
取組項目番号 1 2 川合委員	学校給食は、栄養摂取や食育の観点からも非常に大事である。 和泉市の取組みは食の大切さを重視している点で評価できる。この取組みを継続してほしい。
取組項目番号 1 3 杉田委員長	令和 6 年度、7 年度と「健診の有所見者の受診率向上」という課題が続いている。この課題は、家庭の問題などが大きく影響すると考えられるが、他自治体の好事例などを参考にしながら取組みを検討してほしい。
小松委員	歯科検診有所見者受診率が、令和 6 年度と比較して低下している要因は何か。
田嶋課長	詳細の分析までには至っていないが、受診率向上に向けて、懇談会での保護者への勧奨・再勧奨、健診結果に「むし歯の数」を記載することで、保護者に所見を具体的に認識してもらう、などの各校区の実情に応じた取組みを進めたが、改善につなげっていない。
小松委員	有所見者の約半数が「やせ」、「肥満」の「栄養状態」とのことだが、今の時代において「やせ」はどれくらい、いるのか。

田嶋課長	「やせ」、「肥満」の内数を持ち合わせていないので、確認のうえ後日、報告する。
取組項目番号14 川合委員	事前質問の回答にあった「学校空調設備運用指針」には基本的な事項を記載し、詳細の対応は各学校に任せているという認識で良いか。
大内室長	そのとおりであり、指針には、空調の利用開始時期や設定温度など、基本的な事項について記載している。詳細の運用は、状況に応じて学校で判断している。
取組項目番号15 杉田委員長	昨今、物価高騰が著しいことから、しっかりとした計画を立てながら施設維持管理に努めてほしい。 以上